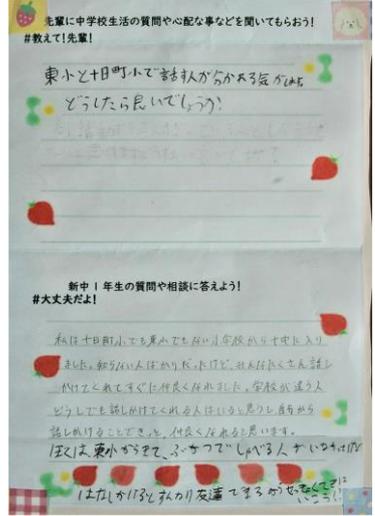




教えて先輩！ 大丈夫だよ！（中学校説明会で）



写真の説明は P 6

巻頭言 『バトンをつないで』

十日町市教育委員会教育文化部長 滝沢直子

本年度、教育文化部長を拝命しました滝沢直子と申します。お世話になります。よろしく申し上げます。私は平成25年度から3年間、小中一貫教育に携わらせていただいていた。当時はモデル試行から完全実施へと小中一貫教育を全市へ広げていく段階で、各中学校区でグランドデザインを描き、目指す子どもの姿を小中全教職員で“共通理解”し、乗り入れ授業や合同あいさつ運動などを実施していました。子どもたちが自己有用感や将来の目標が持てるようにと先生方と議論したことを思い出します。あの頃の学校教育のめあても『ふるさと十日町市を愛し自立して社会で生きる子ども』でした。

グローバル化、情報化、AIの出現、人口減少、急激な人口構造の変化など、加速度的に変化している現代社会で求められる能力は、これまでの知識型から課題解決型へシフトしていると言われていています。直面した課題や困難を自らの力で解決していく能力が、子どもたちには必要です。次の世代にバトンをつなぐために、「子どもたちが自らの力を育み、自ら能力を引き出し、自ら判断し行動できるような教育」を実践することが、我々の責務ではないでしょうか。

小中一貫教育のバトンを再び持たせていただいた者として、全ての子どもたちに「自立して社会で生きる」力を持たせて義務教育を卒業させてあげたいと思います。一年間、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

小中一貫教育

■ 小中一貫教育計画訪問

令和6年度の小中一貫教育計画訪問では、各中学校区のグランドデザインをもとに取組の概要をお聞きしたり、先生方がそれぞれの部会で熱心に今年度の取組について協議する様子を拝見したりしました。それらを踏まえて、市の実施計画を説明し、理解を深めていただきました。各中学校区では、学校の規模や設置状況の特徴を生かした計画を立てています。参考になる計画をいくつかを紹介します。

- (1) 小中一貫教育を子ども園(幼稚園・保育所も)を含めたトライアングルで考え、グランドデザインや計画に位置付けている中学校区が複数あります。中には保育園・小学校低学年・中学年・高学年・中学校の行動指針を基本的な生活習慣や健康・体力の向上などの一覧表にまとめて実践している中学校区もあります。今後小学校1年生時の適応を円滑に進めるためにも考えていきたい取組です。
- (2) つながりを確かなものにする具体的な計画が話し合われている中学校区が多くなっていきます。小学校間の児童のつながり、小中学校間の児童・生徒のつながり、教職員間のつながり、保護者・地域とのつながりが年間計画に位置付けています。多忙な教職員同士が小中学校間で授業を見合うためには、児童・生徒の学習が成立していなければなりませんし、互いの校時の違いを乗り越える難しさがあります。授業のさわりを見るだけでも学びになりますし、教務主任が月や週の教育計画の入れるだけでも実現性が増します。ぜひ良きつながりをつくる努力を続けてほしいと願います。

■ 小中と家庭等で連携した家庭学習習慣づくりを！

週に3日～7日家や塾で学習している児童・生徒(小5～中3)は、平成26年度から令和3年度まで80%をキープしていましたが、令和4・5年度と80%を下回り、下降傾向が続いています。週に6日～7日家や塾で学習している児童・生徒(小5～中3)の割合も令和4・5年度は50%を下回っています。

この影響は、NRT教科総合偏差値の結果にも見られます。中学生の平均偏差値が50を下回り下降傾向が止まりません。小学校でも平均偏差値が50をなんとか維持している状況です。NRTが学力のすべてではないことはもちろんですが、十日町市が目指す学力指標(NRT教科総合偏差値 小53, 中50)から見て、極めて深刻な状況だと考えています。

このことを踏まえ、十日町市小中一貫教育実施計画では、今年度の重点を「**小中で家庭等と連携した家庭学習習慣づくり**」として、各中学校区での家庭学習の取組の見直しをお願いしています。

本たよりの学習指導班からも「ドリルパーク」の活用を図ることなどを提案させてもらっていますが、中学校区でも様々な工夫が見られました。いくつかの中学校区では家庭学習を生活習慣の見直しと関連付け、生徒の自己マネジメント力を身に付けるためにフォーサイトを活用しています。今年度はこの取組を小学校高学年にも試みようとして動き始めました。「家庭学習5か条」を決めて家庭との連携を継続的に深めている中学校区もあり、心強く思っています。各中学校区での工夫ある取組を期待しています。

教育相談班より

市学校教育の重点 共通課題「不登校・いじめの減少」に向けて ～学校の組織力・対応力の向上を図ります～

全国的に不登校児童生徒が増加している中、十日町市も同様に年々増加しており、予断を許さない状況にあります。教育相談センターによる学校訪問や、相談員・スクールカウンセラー等による支援の充実を継続するとともに、**新たな不登校を生まない学校づくりを推進し、学校の組織力の向上や教員の指導力の向上**を図ります。



市教育相談センター
(「にこやかルーム」併設)

いじめの認知件数は、これまでの各校の取組により昨年度は大幅に増加しました。これは、各校における「初期発見→初期対応」のシステムが機能していることを表しています。小学校低学年等の早い段階からどんないじめも見逃すことなく、「いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成」が重要です。生徒指導上の課題が年々複雑化・多様化の傾向にある現在、**いじめ事案への学校の対応力や教員の指導力の向上**を図ります。

【今年度の研修予定】 ※ 十日町市教育センター主催、県教育庁生徒指導課主催を含む

- ◆ 生徒指導研修会「いじめ対応」(主催：市セン) 5月29日(水) AM ※管理職対象
- ◆ いじめ見逃しゼロ・不登校対応研修(主催：県生徒指導課) 5月29日(水) PM ※管理職・生徒指導担当者対象
- ◆ 生徒指導研修会「教育相談」(主催：市セン) 6月28日(金) ※教育相談・適応支援担当者対象

市学校教育の重点 共通課題「特別支援教育の充実」に向けて ～全ての教師の専門性の向上を図ります～

通級による指導を利用する児童生徒が増加している現在、「障害のある児童生徒を含め多様な児童生徒が通常の学級に在籍している」ことを前提として、全ての児童生徒に対し、高い学習効果が得られるよう分かりやすい授業づくりを進め、通常の学級において安全・安心に学ぶことができるよう、多様性を尊重した学級経営が求められます。そのためには、特別支援学校や特別支援学級担任だけでなく、**全ての教師の特別支援教育に関する専門性の向上**が必須です。十日町市では、特別支援教育にかかわる研修会(校内外問わず)に年間1回以上参加した教員100%を目指し、研修の充実を図っていきます。今年度も、通常の学級担任向けの「基礎講座」や管理職向けの「学校運営講座」、特別支援教育コーディネーター向けの「養成講座」「授業公開講座」を開設します。

※ 「研修講座パンフレット(チラシ)」が配付されています。詳細を知りたい方は、自校の特別支援教育コーディネーターにお聞きください。

令和6年度 十日町市教育センター 特別支援教育研修講座のご案内																	
<small>※ 十日町市教育センターでは、全ての教員に求められている特別支援教育に関する専門性の向上を促すために、下記の研修講座を開設します。研修のご参加をお待ちしています。</small>																	
【研修一覧】																	
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">基礎講座</th> </tr> <tr> <td>5/29(水)</td> <td>グループワークの学びと見える「学び合い」実践 【講師】高田由紀子(特別支援教育推進員、市立学校教員)等 【時間】14:30～16:30 【対象】全ての教員</td> </tr> </table>	基礎講座		5/29(水)	グループワークの学びと見える「学び合い」実践 【講師】高田由紀子(特別支援教育推進員、市立学校教員)等 【時間】14:30～16:30 【対象】全ての教員	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">学校運営講座</th> </tr> <tr> <td>5/31(金)</td> <td>校内支援体制の充実(校内委員会、連絡協議会) 【講師】中尾教育事務所 高橋 幸子 【時間】16:30～18:30 【対象】管理職・特別支援学級担任・コーディネーター</td> </tr> </table>	学校運営講座		5/31(金)	校内支援体制の充実(校内委員会、連絡協議会) 【講師】中尾教育事務所 高橋 幸子 【時間】16:30～18:30 【対象】管理職・特別支援学級担任・コーディネーター								
基礎講座																	
5/29(水)	グループワークの学びと見える「学び合い」実践 【講師】高田由紀子(特別支援教育推進員、市立学校教員)等 【時間】14:30～16:30 【対象】全ての教員																
学校運営講座																	
5/31(金)	校内支援体制の充実(校内委員会、連絡協議会) 【講師】中尾教育事務所 高橋 幸子 【時間】16:30～18:30 【対象】管理職・特別支援学級担任・コーディネーター																
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">特別支援教育コーディネーター養成講座</th> </tr> <tr> <td>6/6(水)</td> <td>基礎研修「福祉サービス」 【講師】上村あいの(五反田小学校教員、市立学校教員)等</td> </tr> <tr> <td>6/5(火)</td> <td>基礎研修「学習の支援」 【講師】上村あいの(五反田小学校教員、市立学校教員)等</td> </tr> <tr> <td>6/18(木)</td> <td>個別の教育支援計画・個別の支援計画 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他</td> </tr> <tr> <td>11/20(水)</td> <td>働きかたの風になる子への指導・支援 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他</td> </tr> </table>	特別支援教育コーディネーター養成講座		6/6(水)	基礎研修「福祉サービス」 【講師】上村あいの(五反田小学校教員、市立学校教員)等	6/5(火)	基礎研修「学習の支援」 【講師】上村あいの(五反田小学校教員、市立学校教員)等	6/18(木)	個別の教育支援計画・個別の支援計画 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他	11/20(水)	働きかたの風になる子への指導・支援 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">授業公開講座</th> </tr> <tr> <td>7/3(水)</td> <td>授業公開Ⅰ 【講師】新潟大学教員 村中 智彦 様 【会場】上村あいの(五反田小学校) 【時間】13:40～16:40 【対象】特別支援学校教員 特別支援学校教員 他</td> </tr> <tr> <td>11/27(水)</td> <td>授業公開Ⅱ 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他</td> </tr> </table>	授業公開講座		7/3(水)	授業公開Ⅰ 【講師】新潟大学教員 村中 智彦 様 【会場】上村あいの(五反田小学校) 【時間】13:40～16:40 【対象】特別支援学校教員 特別支援学校教員 他	11/27(水)	授業公開Ⅱ 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他
特別支援教育コーディネーター養成講座																	
6/6(水)	基礎研修「福祉サービス」 【講師】上村あいの(五反田小学校教員、市立学校教員)等																
6/5(火)	基礎研修「学習の支援」 【講師】上村あいの(五反田小学校教員、市立学校教員)等																
6/18(木)	個別の教育支援計画・個別の支援計画 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他																
11/20(水)	働きかたの風になる子への指導・支援 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他																
授業公開講座																	
7/3(水)	授業公開Ⅰ 【講師】新潟大学教員 村中 智彦 様 【会場】上村あいの(五反田小学校) 【時間】13:40～16:40 【対象】特別支援学校教員 特別支援学校教員 他																
11/27(水)	授業公開Ⅱ 【講師】特別支援教育コーディネーター 特別支援学校教員 他																
<small>お問い合わせ先</small> 〒948-0192 十日町市中央1-2番地(旧西倉内) 十日町市教育センター 電話 556-5010 JP-556 MAIL t-edu@city.tokamachi.jp																	

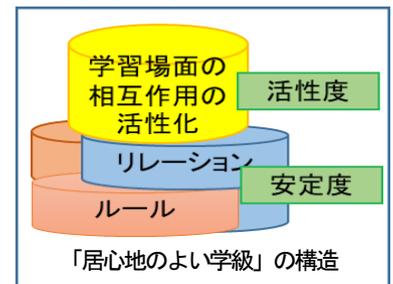
学習指導班より

学力を向上させるには？ ～「居心地のよい学級づくり」と「家庭学習」の関係から～

4月当初に、全員研修会や小中一貫教育のコーディネーター研修を行い、市の課題の一つとして学力向上を目指していくことを説明しました。本年度の重点テーマは「家庭学習」がキーワードになっています。家庭学習が、質的にも量的にも十分であれば学力は高まります。それだけでなく、学習場面の相互作用の活性化に大きな意味をもちます。

「居心地のよい学級」は、スタンダードプランにあるように下図のような構造と捉えています。ルール・リレーションが土台となり、それを基盤として、活性度の高い「主体的・対話的で、深い学び」のある授業を展開していくという構造です。

活性度の高い学習とは、相互作用が活発に行われているということの意味をしています。それを実現し、学力向上を図るには、児童生徒の基礎知識の定着を図ること、つまりレディネスを揃えることも重要です。



私はICTの詳しい人と会議をする機会が何度となくあります。知識の乏しい私は、その会議の場でほとんど発言することはありません。参加者全員の活性度が高まっているとは言い難い様子です。

学習場面も似たようなことが言えます。ある程度の知識が定着していなければ、発展的な授業づくりをしたとしても、全員が発言したり、意見を言ったり、教え合ったりすることは難しいのではないのでしょうか。ただ、知識の定着を図ることは学校の時間だけでは足りない児童生徒もいます。

そのような意味から、本年度は「家庭学習」を1つのテーマとして掲げ、ドリルパークを導入しました。その活用も含めて、今までの家庭学習の取組にちょっとばかり工夫改善を加えながら、学力向上を図ってください。

ドリルパークを活用してください！

ドリルパークは、学習意欲を高め、個別最適な学びに利用できるツールです。

授業と家庭学習で「ドリルパーク」を使ってください。そして、校内の先生方で情報共有し、効果的な活用を研究し、進めてください。よろしくお願いいたします。

1 どこからドリルパークを使うか

学校ごとにトップページが違うので、全学校のドリルパークのトップページを紹介します。

10.204.1.43/drill/index.html

自校のページ(先生用か生徒用)を開いて、「スタート—Google アカウントでログイン」から、使ってください。お気に入り登録すると、家庭でも使えます。iPad はドリルパークアイコンから使います。

2 操作方法を教えて

基本操作動画がお勧めです。ドリルパークの操作方法を解説しているのでやってみましょう。

[学習の流れ | アプリの操作・基本操作 Benesse](#)



3 オーダーメイド課題配信がおススメ

テスト前に、テスト範囲の復習を10分間でするとします。テスト範囲の単元を選択し、オーダーメイド課題を配信し、子どもが課題に取り組んでいるとき、先生が机間巡視して支援します。

4 宿題として活用

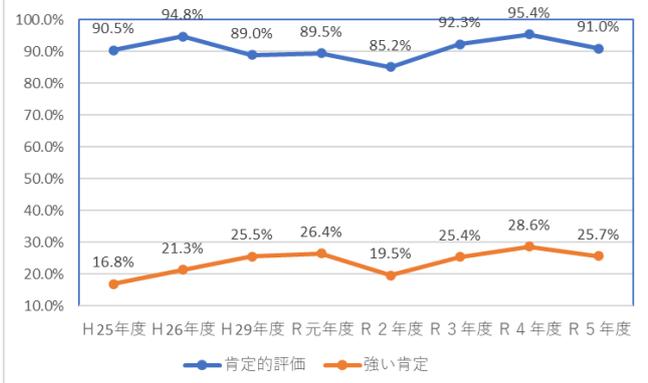
学年や学年部で宿題を出すのは、働き方改革にもなり効果的です。オーダーメイド課題配信は、宿題として活用できるので上手に使ってください。

学校教育課・教育センター事業のお知らせ ～6・7月～

日 時	内 容 ・ 会 場	備 考
5月27日～	第1回WEBQU開始(～6月7日)	
6月～	アドバイザーによる学校訪問開始	
6月4日(火)	校務支援システム研修「成績処理」	オンライン開催 (Zoom)
6月5日(水)	情報教育担当者会議	
6月6日(木)	第1回特別支援教育コーディネーター養成講座 「進路指導・福祉サービス」 【川西庁舎】	講師：川西高等特別支援学校職員(予定) 十日町市障がい者就業・生活支援センター職員(予定) 対象：特別支援教育コーディネーター 特別支援学級担任
6月6日(木)及び10日(月)	校務支援システム研修「School Web Assist」	2日の内いずれか1日を選んで参加
6月14日(金)	新採用・若手事務職員(郡市)	対面での実施
6月20日(木)	校務支援システム研修「Home & School」	
6月28日(金)	生徒指導研修会「教育相談」 【川西庁舎】	講師：中越教育事務所 指導主事 SSW 対象：教育相談担当教員 適応支援担当教員
7月3日(水)	特別支援教育 第1回授業公開講座 「授業改善Ⅰ」 【ふれあいの丘支援学校】	講師：新潟大学 教授 村中智彦 様 対象：特別支援学校教職員 特別支援教育コーディネーター 特別支援学級担任
7月25日(木)	情報教育担当者会議	
7月25日(木)	第2回教育支援員研修会 【千手コミセン】	講師：学校教育課 課長補佐・指導主事 通級指導教室担当教員 等 対象：教育支援員・学校看護師
7月26日(金)	図書委員会サミット	情報館(午後日程)

【表紙写真の説明】

中学校進学を楽しみにしている6年生



各中学校区では、小学校6年生の中学校進学に向けての不安を少なくしようと様々な体験を計画しています。表紙写真は拡大中学校区で、6年生が抱く不安に対して中学生が丁寧に回答しているものです。

小学校では不安内容ごとにまとめて掲示して、小学生の安心につなげています。

令和5年度のグラフからも進学不安が少ないことが分かります。